

1. 次の文章を読み、問いに答えなさい。

富山県の自然環境は、高度3000mほどの山々から水深1000mにいたる富山湾まで、(a) 起伏に富んだ地形が生み出したものです。高度の高い山々から流れ込む川によって作られた平野では、古くから(b) 米作りが行われてきました。また、富山湾では漁業がさかんです。海底に冷たい海水がある富山湾は、暖流である 海流が流れ込むため、冷たい海と暖かい海の両方の海産資源に恵まれ、「神秘の海」と呼ばれています。

変化に富んだ豊かな自然環境は、さまざまな歴史や文化を育んできました。例えば富山県では、古くから行われてきた(c) 製薬業や銅器などの伝統工業がさかんです。このような伝統工業の技術は、現在のさまざまな(d) 工業の分野でも生かされています。県内にある多くの発電所から得られる豊富な(e) 電力も富山県の工業を支えています。

このような環境から(f) 富山県では、「東京などの都市圏とは異なる豊かな暮らし」を提案しています。

富山県のように地域の独自性を生かした取り組みは、日本の他の地域でも行われています。

問1 文中の にあてはまる海流名を答えなさい。

問2 下線部(a)について、【図1】は、国土地理院発行5万分の1地形図「五百石」の一部です。

川の流れている方向がわかるように、解答用紙裏面の地形図に矢印(→)を書き込みなさい。また、そのように考えた理由を説明しなさい。

【図1】



問3 下線部(b)について、

(1) 日本の主な稲作地域を見ると「単作地帯」が多いという特徴があります。

「単作」とはどのようなことが、説明しなさい。

(2) 日本の稲作について述べた文として誤っているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 三角洲など河川の流域は、古くから水田として利用されてきた。

イ. 農業生産額に占める米の割合は最も多く、約50%を占めている。

ウ. 稲作農家を保護するため、米の輸入量は政府により制限されている。

エ. 日本の食糧自給率は低い、米の自給率は約90%以上ある。

問4 下線部(c)について、富山県では、古くから製薬業が栄えてきました。独特なのはその販売方法です。

- ① 日本各地のお客様のところに、日常で使用するような薬を一通りそろえて預ける。
- ② 1年に一度訪問する。その間に使われた薬の代金を受け取り、新しい薬と交換する。

このような販売方法は、富山の人々の生活をより豊かにしました。そのため、江戸時代には、薬の販売にたずさわる農民が増えていきました。

農民が薬を販売しに行くのはどの季節だったと考えられるか、富山県の気候に着目して答えなさい。

また、そのように考えた理由も答えなさい。

問5 下線部(d)について、次の「あ」～「う」は、それぞれ【図2】中のA～Cの各地域の工業について説明したものです。組み合わせが正しいものを次のア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

「あ」 自動車や電気製品などの組み立て工場が多い。

「い」 コンビナートがあり、石油化学工業が発達している。

「う」 乳製品などの食品加工業が発達している。

- ア. A 「あ」 B 「い」 C 「う」
- イ. A 「あ」 B 「う」 C 「い」
- ウ. A 「い」 B 「う」 C 「あ」
- エ. A 「い」 B 「あ」 C 「う」
- オ. A 「う」 B 「あ」 C 「い」
- カ. A 「う」 B 「い」 C 「あ」

【図2】



問6 下線部(e)について、日本の電力供給について正しく述べているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 水力・火力・原子力以外でもっとも発電量が多いのは、太陽光発電である。
 イ. 火力発電の燃料となるのは、主に石油とウランである。
 ウ. 国連から危険性が指摘されたため、原子力発電所の運転を停止している。
 エ. 全体の発電量のうち、水力発電が占める割合は約10%である。

問7 下線部(f)について、富山県が提案している「東京などの都市圏とは異なる豊かな暮らし」とはどのようなものだと考えられますか。【表1】を参考に、東京の暮らしとの違いを明らかにして答えなさい。

【表1】

	持ち家率	一世帯あたりの 持ち家の延べ面積	三世代同居世帯の割合 (注1)	合計特殊出生率 (注2)
富山県	79.6%	146.3㎡	21.0%	1.33
東京都	47.4%	64.2㎡	4.7%	0.98

注1 2人以上で生活している世帯のうち、三世代が同居する世帯が占める割合。

注2 女性の年齢別出生率を合計したもの。女性が一生のうちに産む子供の数の平均を表す。
 (『データで見る県勢<2007年度版>』などより作成)

2. 次の文章を読み、問いに答えなさい。

日本の歴史を身近な地域から具体的に見てみましょう。

縄文時代の人々の生活ぶりは、遺跡から知ることができます。日本最大の貝塚である千葉県（ちばけん）の加曽利貝塚では、関東平野では産出しない黒曜石のやじりや、土器のかけらも発見されます。東京都北区の(a) 中里貝塚には、4メートルの厚みでカキとハマグリ（かきと かもり）の貝殻ばかりの層があります。また、長さ約6メートルの大きな丸木船も出土しています。

文京区弥生町（ややぎまち）から発見された土器から名付けられた(b) 弥生時代は、金属器の使用と稲作の伝来が特徴で、戦いが増えた時代です。

近畿地方から広まった古墳は、関東にも数多く作られました。(c) 埼玉県の稲荷山古墳からはワカタケル大王の名前を刻んだ鉄剣が出土しています。同じ大王の名前は熊本県の古墳から出土した鉄剣にも刻まれていました。

律令政治が始まると、地方は国ごとに分けられ、現在の埼玉・東京・神奈川にまたがる地域には ① 国がつくられ、都から国司が派遣されました。国府は現在の東京都府中市に置かれ、やがて近くには(d) 国分寺も建立されました。

こうした国司による支配を大きく揺るがしたのが、(e) 平安時代に起きた平将門の乱です。関東の実権を握った将門が国府を襲い、一族の者を新たに国司に任命する反乱に発展しました。その後、乱の平定に力を発揮した武士が中央政治にも影響力を持ち始めました。

鎌倉幕府は、初めて政治の中心を関東に移しました。そののち室町幕府は再び政治の中心を京都に戻しましたが、東国を支配する拠点として ② を置きました。

江戸城に徳川家康が移って以来、江戸は城下町として発展し始めます。人口100万人を数える大都市となった江戸には、水道やごみ処理などをはじめ、(f) 生活を守るためのさまざまな仕組みが作られました。また、(g) 幕末には全国各地にこれま

でなかった施設が多数建造されました。

明治時代になって江戸は東京と名前を変え、文明開化で導入された西洋の技術を用いて新たな発展を始めました。しかし、(h) 大正時代末期、関東大震災の被害を受け、東京・横浜は新たな都市計画によって作り替えられました。さらに、昭和に入ってから戦争による空襲で東京は焼け野原となったため、江戸の面影は消えてしまいました。

敗戦後の日本は復興を遂げ、1960年代の高度経済成長を通じて (i) 人々の暮らしは大きく変化しました。東京オリンピック、さらにバブル期を経て姿を変えた東京は、これからどのように変わっていくのでしょうか。もし、2016年の東京へのオリンピック誘致が実現すれば、また大きな変化がもたらされます。どうすることがそこに住む人のためになるのか、過去の変化を参考にしながら考えていく必要があります。

問1 文中の ㊦ ㊧ にあてはまる言葉を答えなさい。

問2 下線部 (a) について、

(1) 【図3】は中里貝塚の位置を示したものです。中里貝塚は、なぜこれほど内陸にあるのでしょうか。今よりも温暖だったといわれる縄文時代の気候をふまえて答えなさい。

【図3】中里貝塚の位置



(2) 中里貝塚では、当時の人々によって大量の貝が採集されていたことがわかります。それらの貝は干し貝に加工されていたようです。大量に作られた干し貝は、保存して自分たちが食べる以外にどのような使われ方をしていたのでしょうか。本文をよく読み、考えて答えなさい。

問3 下線部 (b) について。弥生時代の集落について述べた文として誤っているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア、敵を見張るために高台に作られた集落があった。
- イ、稲を貯蔵した高床倉庫が並んだ集落があった。
- ウ、土偶をまつる広場を中心に作られた集落があった。
- エ、周囲を濠や柵で囲み、守りを固めた集落があった。

問4 下線部 (c) について。離れた場所から同じ大王の名が刻まれた鉄剣が発見されたことから、大和政権についてどのようなことがわかるか、説明しなさい。

問5 下線部 (d) について。国分寺建立の詔が出された時期として正しいものを、次の略年表中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

改新の詔が出される
ア
藤原京が作られる
イ
聖武天皇が即位する
ウ
平安京にうつる
エ
遣唐使が廃止される

問6 下線部(e)について、この乱の中で平将門は自ら何と名乗るようになったか、
答えなさい。

問7 下線部(f)について、江戸では火事の被害が多かったために、8代将軍吉宗
は人々の意見を取り入れて火消しの制度を作りました。吉宗が意見を聞くために
設けたものは何か、答えなさい。

問8 下線部(g)について、幕末の日本では、別紙の【図4】のような施設が全国
に約1000か所も建造されました。右ページの【図5】は、施設が作られた場所の
うち現在も跡が残る場所を示したものです。

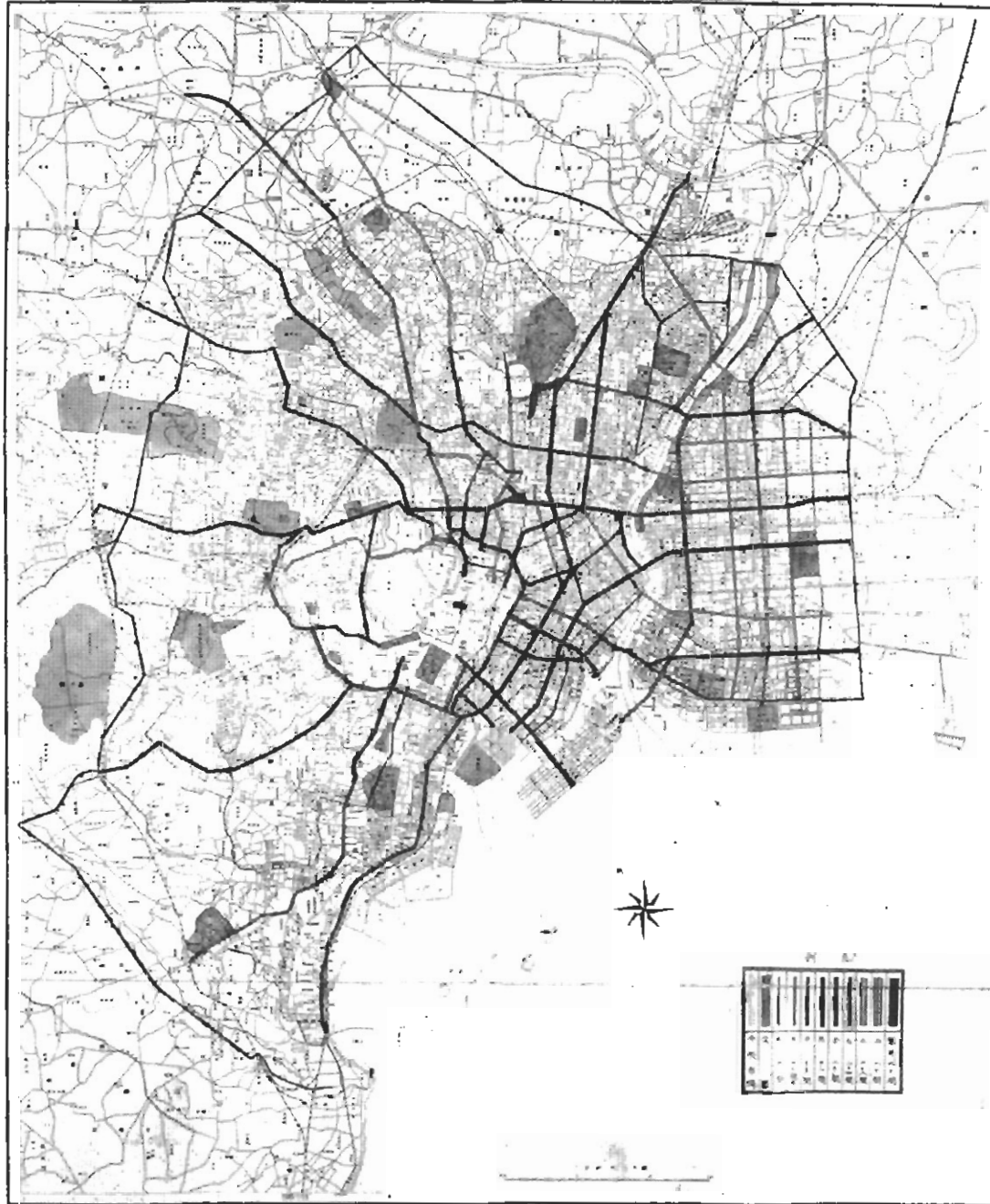
- (1) 【図4】【図5】を見て、幕末にこれらの施設が造られた目的を答えなさい。
- (2) 【図5】のA～Cは当時施設が多く建造された場所です。AとBの位置から
見て、この二つの場所に施設を造ることで何を守ろうとしたのでしょうか。C
の位置を参考にして、考えて答えなさい。

【図5】幕末に建造された施設で現在も跡が残る主な場所



問9 下線部（h）について、【図6】は関東大震災後の都市計画図です。地図の東側で道路の整備計画が集中している部分が震災の影響が大きかった地域です。なぜ、影響が大きくなったのか、その理由を考えて答えなさい。

【図6】関東大震災後の都市計画図（「帝都復興計画図」）

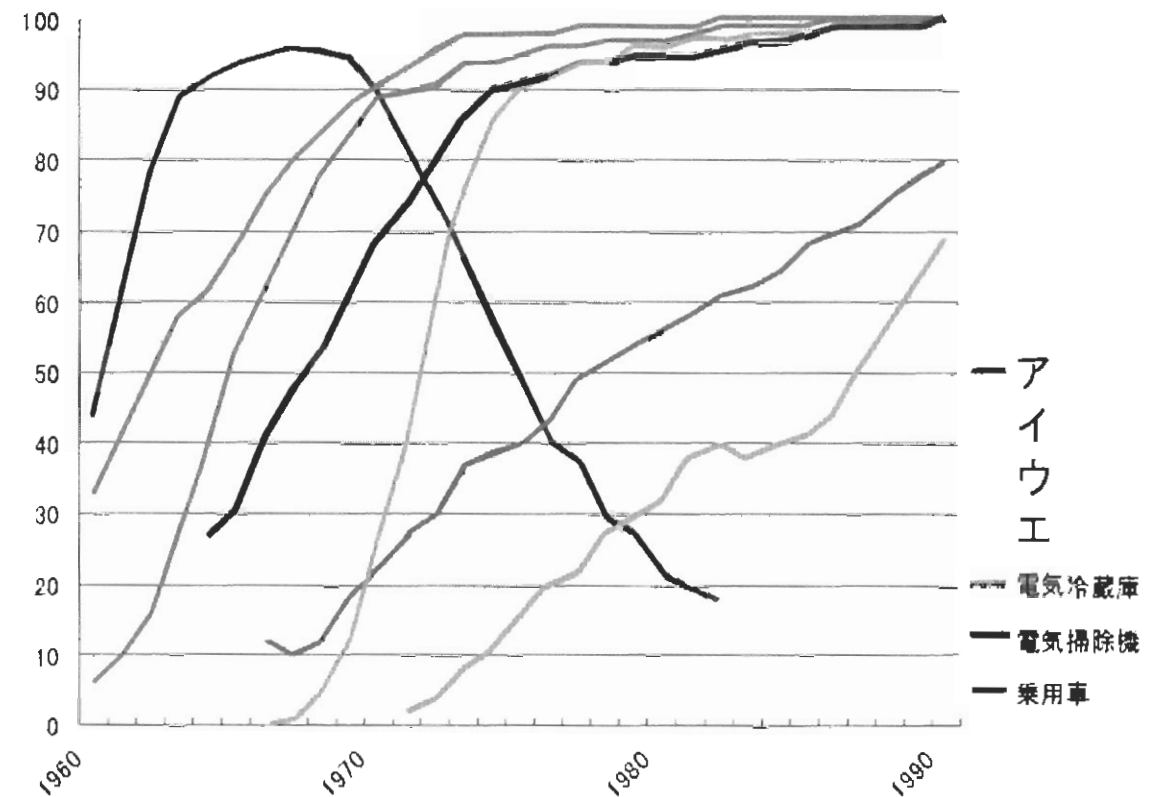


（注）色のついた線は、各種の道路を示しています

（復興局編『帝都復興事業概観』より）

問10 下線部（i）について 【図7】は家庭電気製品等の普及のようすを表したグラフです。「三種の神器」と呼ばれた電気製品の一つである白黒テレビを示すものをア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

【図7】家庭電気製品等の普及



（内閣府経済社会総合研究所「消費動向調査」などによる）

3. 次の文章を読み、問いに答えなさい。

2007年5月、「日本国憲法の改正手続きに関する法律（国民投票法）」が公布されました。日本国憲法では、憲法改正について（a）第96条第1項で定めていますが、「国民投票法」が制定されたことで、（b）憲法改正を具体的に進めていく手続きが定められたことになります。

1945年8月にホツダム宣言を受諾した日本は、アメリカ軍を中心とする連合国軍に占領されました。政府は、連合国軍総司令部（GHQ）の指示する民主化政策に取り組み、1946年2月に憲法改正案を提出します。しかし、（c）この案は民主化には不十分であるとして拒否され、GHQによって提示されたマッカーサー草案に従って憲法改正の作業が進められました。その後、（d）戦後初の総選挙が行われ、新しい帝国議会によって憲法改正案が審議されました。一部に修正が加えられて成立した日本国憲法は、11月3日に公布され、1947年5月3日に施行されました。

こうして、「平和憲法」を持つことによって、日本では（e）「戦後」が長く続くことになります。1951年のサンフランシスコ平和条約で、日本は戦争放棄、戦力不保持を前提に独立を認められました。しかし、アメリカ合衆国との間に日米安全保障条約を結ぶことで多くのアメリカ軍基地を国内に抱え、さらに自衛隊の創設も、（f）解釈改憲をすることによって認められました。（g）自衛隊には、世界でも有数の防衛関係費が支出され、また、（h）自衛隊は、1990年代以降、世界の各地に派遣されています。ただし、後方支援であったり、他国の軍隊に守られたりしているため、自衛隊が直接戦闘に加わることはなく、憲法には違反しないとされています。

しかし、「国民投票法」が制定されたことによって、憲法が改正される可能性も否定できなくなりました。たとえば、現在の憲法では持てないとされている（i）集団的自衛権を持てるようにすることも検討されています。いまを新たな「戦前」にしたために、国民一人ひとりが憲法と向き合うことが求められています。

問1 下線部（a）について、次の文は日本国憲法第96条第1項の全文です。文中の

① ② にあてはまる言葉を答えなさい。

「この憲法の改正は、各議院の ① の3分の2以上の賛成で、国会が、これを発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行われる投票において、その ② の賛成を必要とする。

問2 下線部（b）について、憲法改正を具体的に進めていく手続きを定めた「国民投票法」の内容として正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア、投票する権利は、日本に住む20歳以上の国民のみに与えられる。
- イ、政党による新聞の意見広告は、投票の2週間前から禁止される。
- ウ、憲法改正原案の提案は、関連する内容ごとに分割して行われる。
- エ、学校の先生には、積極的に意見を述べることを求められている。

問3 下線部（c）について、【資料1】は、日本政府が提出した憲法改正案の一部です。この案がGHQから「民主化には不十分である」とされたのはどのような理由だと考えられるか、「主権」という言葉を使い、現在の憲法と比較して説明しなさい。

【資料1】

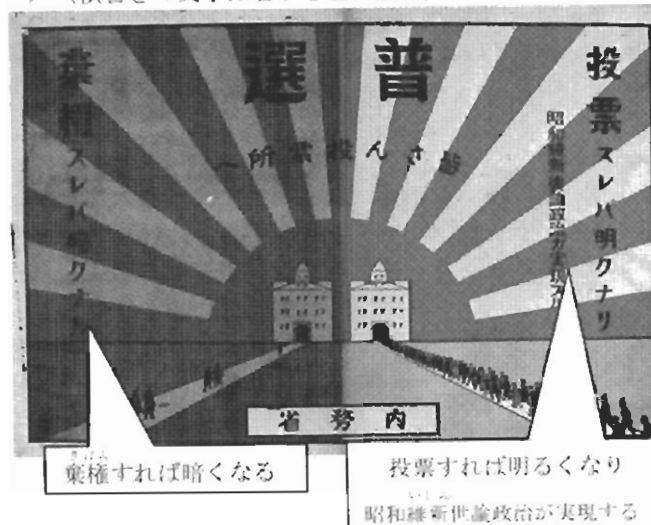
大日本帝国憲法第3条に「天皇は神聖にして侵すべからず」とあるのを、「天皇は至尊（注）にして侵すべからず」と改める。

（注）至尊：この上なく尊いこと

（かなづかいなどを改めてあります）

問4 下線部（d）について。戦後初の総選挙がどのような選挙であったかを考え、投票を呼びかけるポスターとして正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア（横書きの文字は右から左に読む）



（法政大学大原社会問題研究所所蔵）

イ



福岡県選挙管理委員会
（福岡市博物館所蔵）

ウ



（法政大学大原社会問題研究所所蔵）

エ

都合により、写真を掲載できません。

満十八歳以上の男女に
選挙権被選挙権を与えよ！
婦人の政治結社権の獲得！

問5 下線部（e）について。次のA～Dは、明治時代に作られた製鉄所の、4つの「戦後」に関する文です。A～Dを時代順に並べたものとして正しいものを次のア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

- A. この戦争の後、国内の鉄鋼の需要が増えた。そこで、戦争による賠償金の一部を使い、ドイツの技術によって官営製鉄所が建設された。
- B. この戦争の後、占領政策にもとづいて会社が分割された。しかし、設備の近代化を推進し、高度成長期には需要に応じて増産を続けた。
- C. この戦争の主な戦場がヨーロッパだったため、外国からの需要が増えた。しかし、戦争の後にはすぐに不景気になり、大きな打撃を受けた。
- D. この戦争の後、日本の大陸への進出に備えて設備が拡張された。この設備の建設や原材料を輸入するため、多額の国家資金が使われた。

ア. A → B → C → D

イ. A → B → D → C

ウ. A → C → B → D

エ. A → C → D → B

オ. A → D → B → C

カ. A → D → C → B

問6 下線部（f）について。解釈改憲とは、憲法の条文自体は変えないまま、条文の説明を変えることによって、実質的に憲法を改正したときと同じような効果を与えようとする考え方のことです。

また、【資料2】は日本国憲法制定当時の政府の考え方、【資料3】は日本国憲法施行25年後の政府の考え方を示したものです。

憲法制定当時と施行25年後とは、日本政府の日本国憲法第9条に関する説明がどのように変わったか、資料にもとづいて答えなさい。

【資料2】

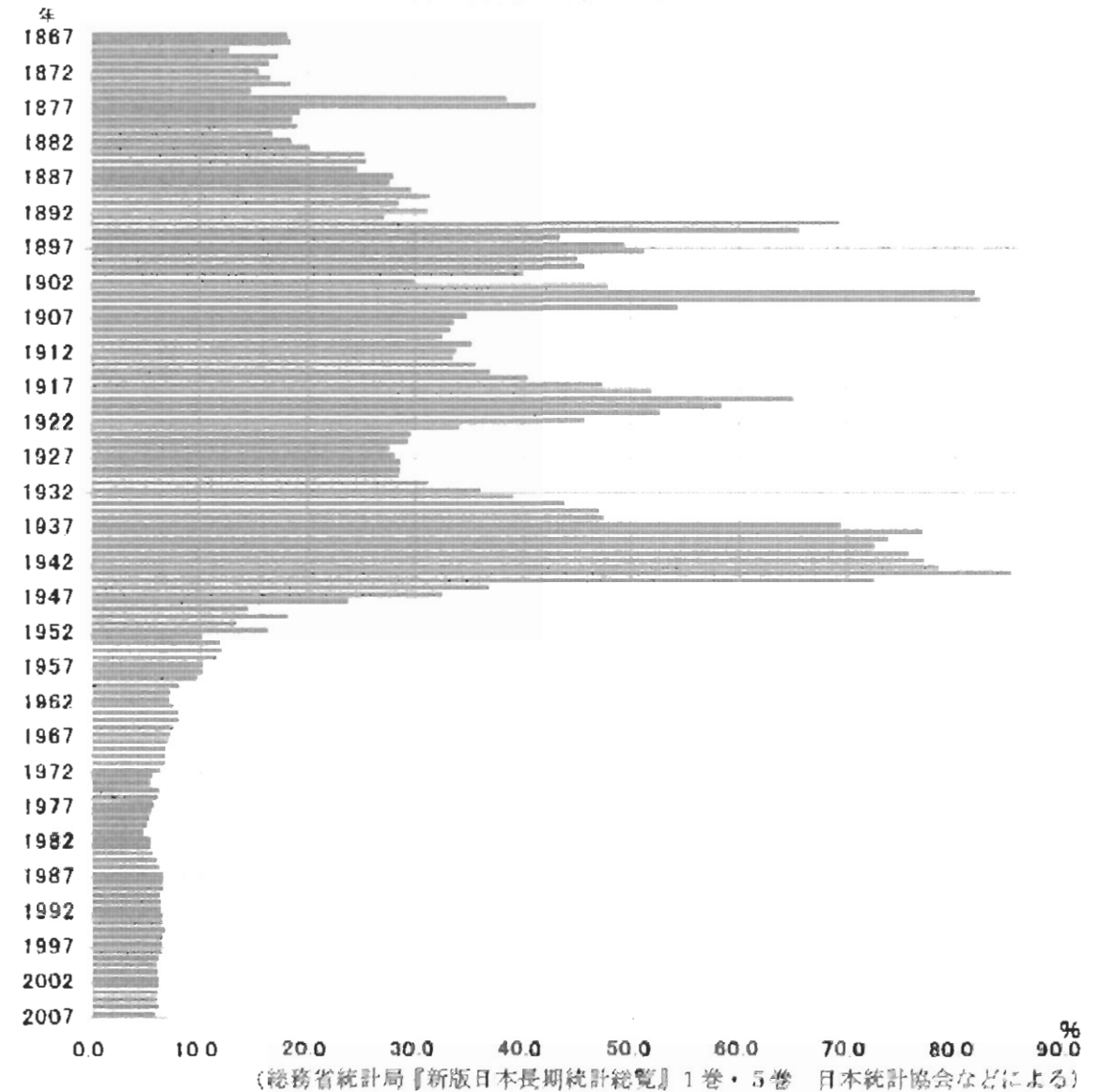
1946年	国会での政府答弁 最近の戦争の多くは、自衛権の名のもとに行われています。自衛権を放棄することによって全世界の平和の確立の基礎を作り、全世界の平和を愛する国々の先頭に立って世界の平和に力を尽くすことを、この憲法によって明らかにしたいと思っています。
-------	---

【資料3】

1972年	政府の統一見解 憲法第9条第2項が禁じている「戦力」は、自衛のための必要最小限度を超えるものです。それ以下の実力を持つことは、憲法第9条第2項によって禁じられていないということであり、これは以前から政府の考え方でした。
-------	---

問7 下線部（g）について 【図8】は、明治以降の国家予算に占める軍事費・防衛関係費の割合を示すグラフです。このグラフから読み取れることとして正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

【図8】国家予算に占める軍事費・防衛関係費の割合



ア. 1930年頃の軍事費は、そのほとんどが海軍の航空母艦を建造するための費用として使われていた。

イ. 第二次世界大戦後、日本の防衛関係費は減少し続けてきたが、ここ15年ほどはまた増加している。

ウ. 日本が外国と戦争をしている時期には、軍事費・防衛関係費は国家予算の半分以上になっている。

エ. 第二次世界大戦以前のどの時期の国防費と比較しても、ここ10年の防衛関係費は半分以下である。

問8 下線部（h）について、日本政府が、テロ対策特別措置法^{そくちほう}にもとづいて自衛隊を派遣したと発表している地域を次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

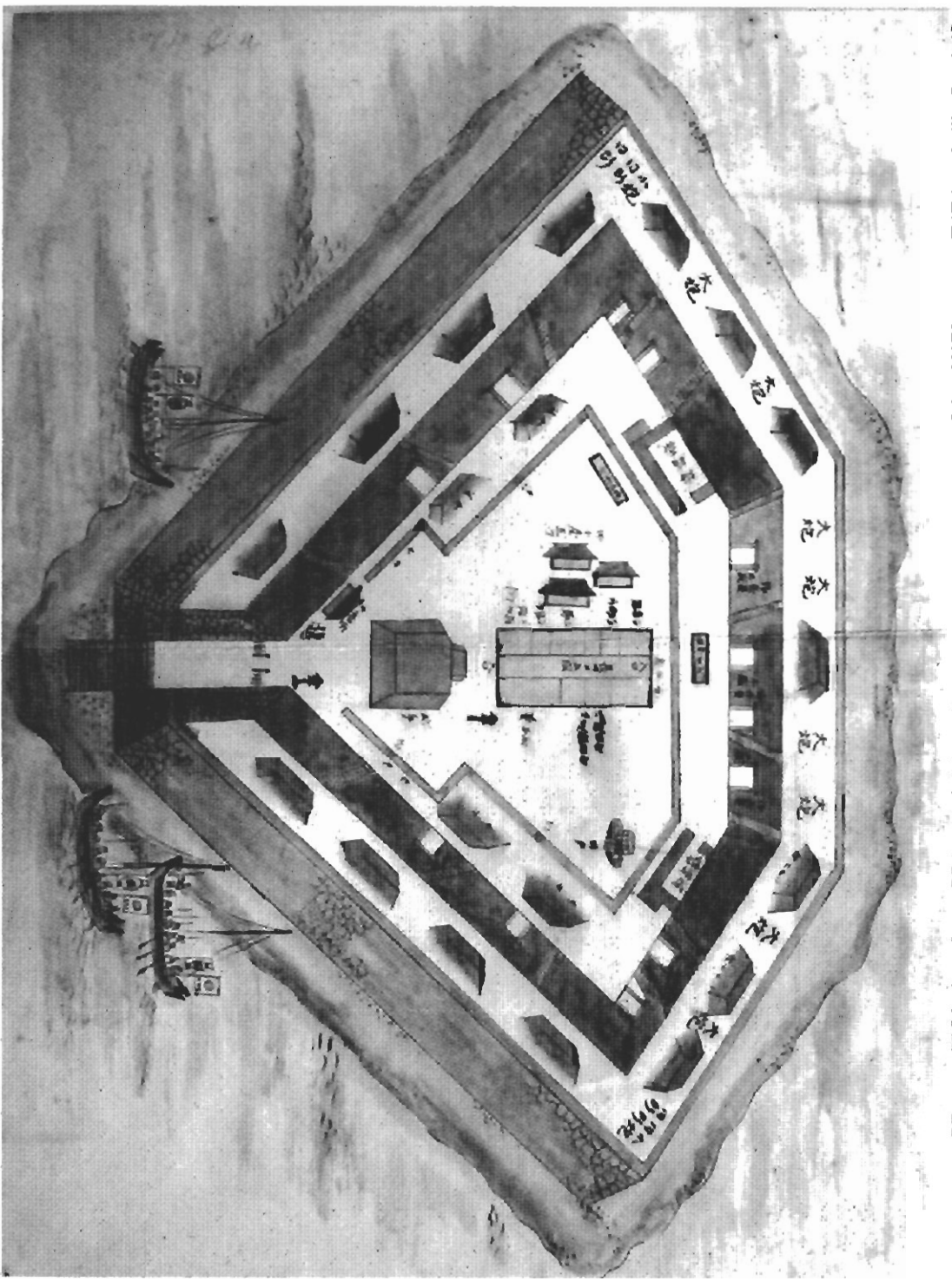


【このページより先に問題はありません】

問9 下線部（i）について、集団的自衛権とはどのような権利か、解答用紙の指示に従って説明しなさい。

【図4】幕末に建造された施設の例

(注：図中の「炮」の字は、現在の「砲」にあたる。)



(鶴岡市立郷土資料館所蔵)

1.

問1

海流 問2 地形図の読みは 理由

*

問3 (1)

(2)

*

問4 季節

理由

*

*

問5

問6

*

問7

*

2.

問1 (1)

2

*

問2 (1)

*

(2)

*

問3

問4

*

問5

問6

問7

*

問8 (1)

*

(2)

*

問9

問10

*

3.

問1 (1)

2

問2

*

問3

*

問4

問5

*

問6

*

問7

問8

*

問9

自分の国と

国が

ときに、

*

自分の国が直接攻撃されていなくても

ことができる権利。